

再生増殖制御学セミナー

ES/iPS 細胞からの 膵と肝への分化誘導

講師: 桑 昭苑先生

熊本大学発生医学研究センター

再建医学部門幹細胞制御分野 教授

京都大学再生医科学研究所再生増殖制御学分野 非常勤講師

日時: 平成 22 年 3 月 12 日(金) 16:00・

場所: 再生医科学研究所 東館 5F ルーフテラス

< abstract >

私たちは、現在はマウス・ヒト ES/iPS 細胞を用いて膵臓と肝臓への分化誘導研究に取り組んでいる。これまでに、M15 細胞を用いた支持細胞系を開発した。この方法では、特異的に液性成長増殖因子を添加することで、3胚葉由来の細胞を特異的に誘導することが可能となった。M15 細胞の基底膜成分であるラミニンからのシグナルが胚性内胚葉からの組織特異的な分化誘導において重要な役割を担っている。ラミニンを組み込んだ人工基底膜(sBM)を用いることで、ES 細胞から膵臓あるいは肝臓への分化誘導が再構築できた。このセミナーでは、ES 細胞からの分化誘導の分子機構について考察しながら、我々の最近の結果についてご紹介したいと思います。

主 催：京都大学再生医科学研究所

連絡先：再生医科学研究所

再生増殖制御学分野（瀬原） Tel:751-3826

後 援：京都大学グローバル COE「生命原理の解明を基とする医学研究教育拠点」

